

## 平成30年度 第3回 学長選考会議議事要録

日 時：平成30年7月25日（水）16：00～17：20  
場 所：事務局第1会議室  
出 席 者：種田委員（議長）、小野寺委員、川上委員、三浦委員  
内田委員（人文社会科学部長）、荒川委員（教育学部長）、  
田内委員（理学部長）、増澤委員（工学部長）、戸嶋委員（農学部長）、  
栗原委員（全学教育機構長）  
欠 席 者：小田部委員、藤川委員

### 議 題

#### 審議事項

##### 1 学長の業績評価について

## 議 事 概 要

### I 議事要録の確認

議長から、平成30年度第2回学長選考会議議事要録について、既に大学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

### II 審議事項

#### 1 学長の業績評価について

議長から、学長の業績評価方法について、本日は学長によるプレゼンテーション及び質疑応答、委員による意見交換を行い、後日、各委員からの評価コメントを提出いただき総合評価書の原案を作成する。その原案を各委員へ送付し、いただいた意見を参考にしうえて、最終決定した総合評価書を議長から学長へ伝達するとともに、大学ホームページ上で公表するとの説明があった。

##### (1) 学長のプレゼンテーションについて

学長から配布資料に基づきプレゼンテーションが行われた。

##### (2) 学長との質疑応答について

学長と学長選考会議委員による質疑応答がなされた。

#### 【主な質疑応答】○委員 ●学長

- 地域との連携が強まり、茨城大学の存在感が増していると考えますが、学長の考える地域連携が狙いどおり進んでいるかを聞かせていただきたい。また、どのような課題が残っているのか。さらに今後、強化された地域連携ネットワークをどのように活かしていくのかも聞かせていただきたい。
- 大学・高専コンソーシアムにおいては、物理的な距離や教育方針の違いがあるため、12大学1高専と一緒に教育するところまでは進んでいないが、COC+では地域志向教育の共有化を始め、茨城キリスト教大学、常磐大学、県立医療大学、茨城高専においては、「茨城学」のVCS配信・録画授業の利用によって受講できるようになった。

教育リソースの共有化の動きは進んでおり、将来的には教員養成校で連携して茨城の教員養成を行うことも考えられる。コンソーシアムは連携のベースであり、ニーズの高い分野から取り組んでいく。企業との連携では、日立オートモティブシステムズとの共同研究のような、成果を製品化へ繋げる具体的な共同研究を行いたい。自治体との連携もテーマごとに行っており、茨城県から支援を受けている学生ビジネスプランコンテストは好評である。これらの連携ネットワークを束ねてさらなる効果をあげることが今後の課題である。

- 茨城大学は、地域に大きな比重を置いてきたが、次のステージでは国際化と世界で活躍できる人材の育成に力を入れていただきたい。また、茨城の身近な大学として地域企業で働きながら学び直せるリカレント教育にも力を入れていただきたい。
- 平成30年度は、学生が海外へ学びに行く際の旅費支援枠を増やし、さらに多くの学生が海外に行くように後押ししているところである。リカレント教育については、ニーズの幅が広くマッチングが難しいが、特に強いニーズを調査してプログラムを作りスタートしたい。
- 各評価項目における昨年度の業績は、どのようなものかを簡単に説明していただきたい。
- 教育では、3学部及びその上の研究科の改組、クォーター制の導入を行った。研究では、様々な研究成果を産学官連携によってさらに推進した。地域連携では、地域連携ネットワークの強化を行った。国際交流では、日越大学での授業開講が決まった。大学運営では、IRに基づく大学運営の仕組み作り、財務改善実行計画による経費節減があげられる。
- 前年度と比べて入学志願者数についてはどう考えるか。
- 改組により入試に英語を課したため、志願者が一時的に減ったが、周辺の高校に新学部の教育を丁寧に説明することで回復してきている。web 出願を導入したことも志願者回復に繋がっていると考え。

### (3) 業績評価に関する意見交換について

学長選考会議委員による意見交換が行われた。